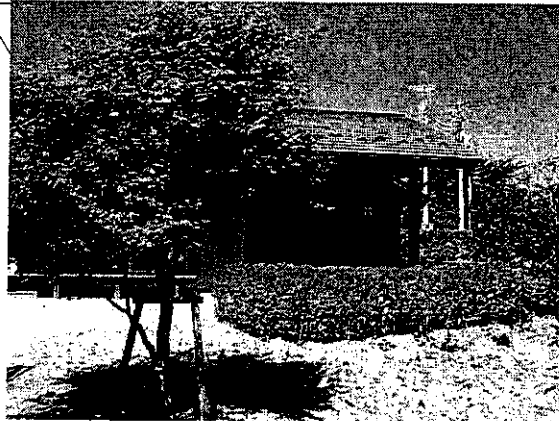


自宅に代わる我が家



名取市痴呆性高齢者グループホーム「こもれびの家」 蓬田 隆子

2003/4/28

1

自宅に代わる我が家として

あたりまえの生活を安心して最期まで

定員 9名 (現在全員女性)

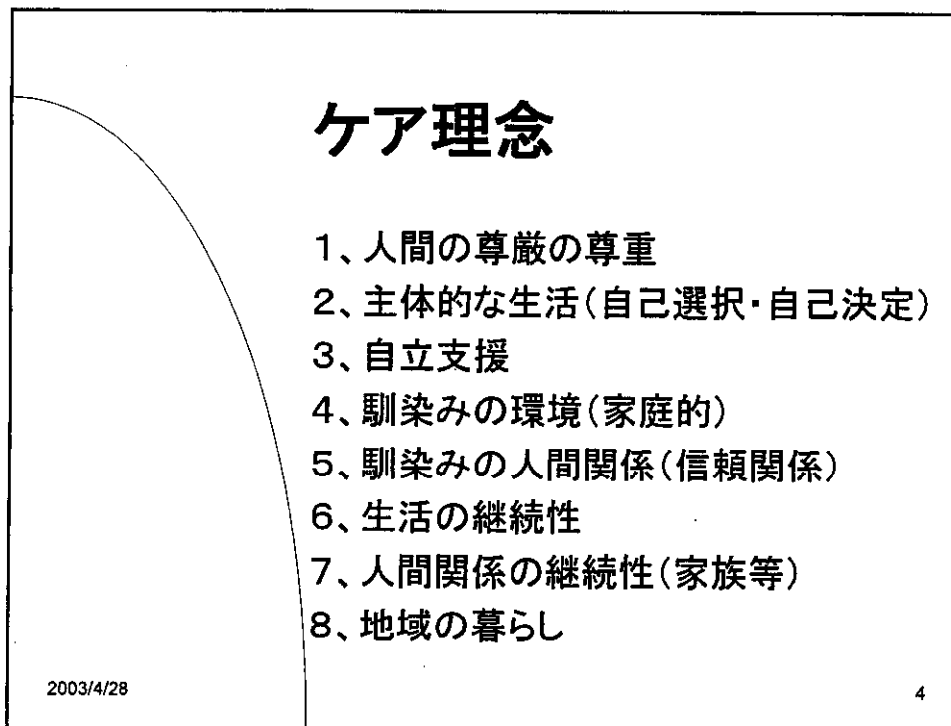
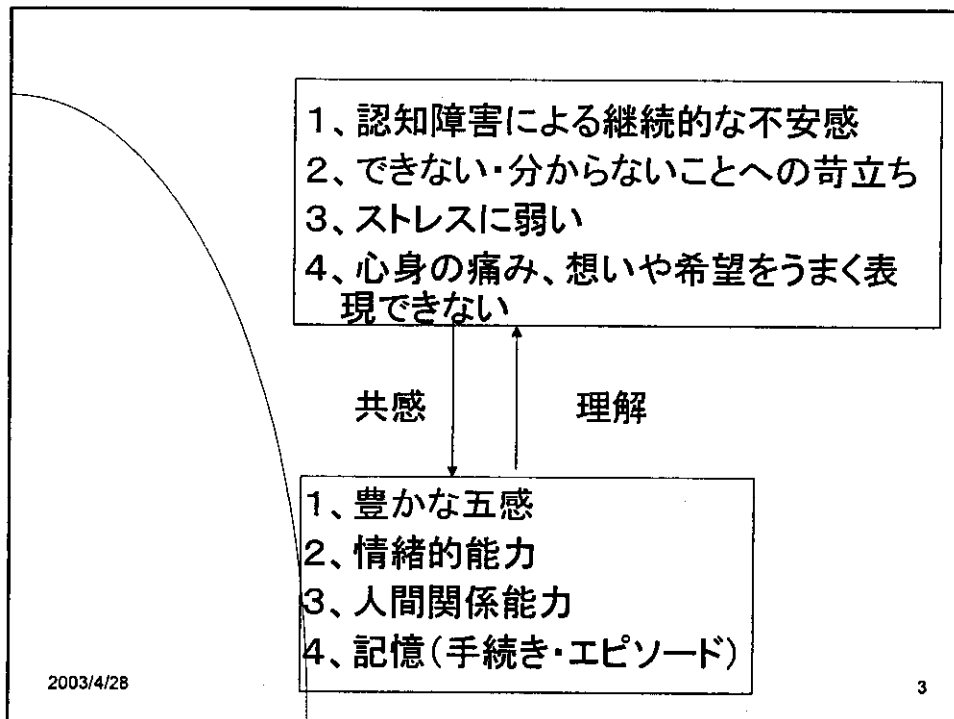
平均年齢(当年) 84, 2歳

介護度 1(1名) 2(4名)

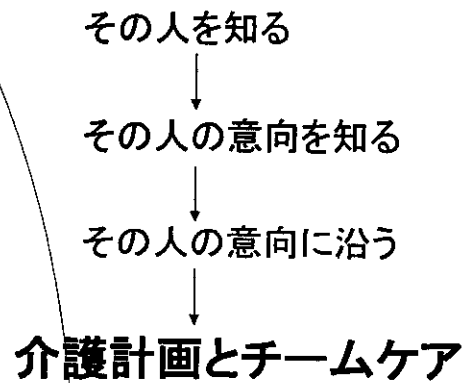
3(3名) 4(1名)

2003/4/28

2



全人的生活支援の視点



2003/4/28

5

その人を知る

■ 基礎シート1 発症経過シート

(発症の総合的な経過を知り、本人・家族の苦しさを共有する)

- ・発症時の様子(いつ・どんな事で・生活状況)
- ・その後の対応(介護者との関わり・介護上困った事)
- ・家族介護状況(親族・外部支援の導入)
- ・痴呆に関する医療状況(診断年月日・診断名等)
- ・痴呆以外の病歴・主治医受診状況・服用薬剤など

2003/4/28

6

グループホームの実践を通して

基礎シート 2 生活史

その人の人生をイメージし共有する
手がかりにする

- ・出生時の状況(父母の名・出生地・家族・家族状況)
- ・幼少時から学童期・青年期・結婚期・成人期から現在にいたるまで
(どこで・誰と・どのような生活・エピソードや呼ばれ方)

2003/4/28

7

基礎シート3

生活の様子

日常生活行動の現状を知り、生活の継続性を図る

- ・1日の生活リズム(食事・睡眠・入浴・排泄等)
- ・身体状況(視力・聴力・咀嚼力・補助道具使用状況)
- ・生活動作(歩行・食事・着脱・排泄・整容等)
いつ・誰に・どのような場面で・どんな支援を受けていたか等

2003/4/28

8

グループホームの実践を通して

基礎シート4

家族状況と家屋見取り図

本人と関係のあった人と家の状況にあわせて援助する

- ・本人が生まれ育った家族の様子(親・兄弟の関係性と愛称、親兄弟の現在の様子)
- ・本人の作った家族(子供と孫の愛称と関係性・どこでどんな生活をしているか)
- ・家屋間取り調査(入居直前の家・本人がよく使っている部屋・一番記憶に残っている家・実家等)

2003/4/28

9

基礎シート5

嗜好調査

嗜好や癖、こだわりの状態を知ることによって本人が快と感じる環境を作る

- ・食べ物の好き嫌いや癖
- ・着るものの好みや癖
- ・音楽やテレビの好みや癖
- ・生き物の好みや癖
- ・嗜好品の好き嫌いや癖
- ・家政作業の好き嫌いや癖
- ・外出や交流の好き嫌いや癖
- ・植物や動物の好き嫌いや癖
- ・色や匂いの好き嫌いや癖
- ・話の好き嫌いや癖

2003/4/28

10

グループホームの実践を通して

生活支援の実際

A その人の安らぎと力の発揮に向けた環境

- ・本人の安心空間の確保(個室・共有空間)
- ・自ら何かしたくなるような空間や触発する環境の工夫
- ・安全を守る工夫
- ・適切な刺激の調節
- ・関わる職員の温かい雰囲気
(仲良く支えあう人間関係)

(資料1)

(資料2)

2003/4/28

11

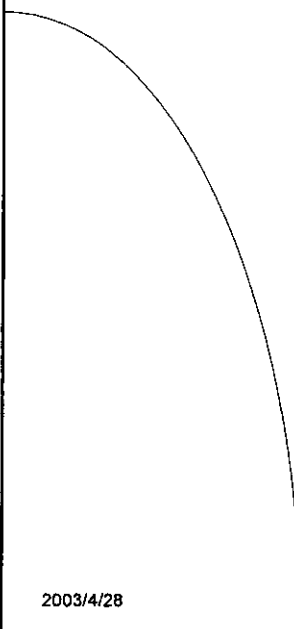
B 本人とスタッフとの深いコミュニケーション

- ・一人の尊厳ある人としての対応
- ・認知機能の低下にあわせたその人固有の安心出来る言葉掛けや誘導

2003/4/28

12

グループホームの実践を通して



C本人のペースと意思を大切にした時間の過ごし方

- ・日々の意思表示や決定を可能にした時間の過ごし方
- ・本人なりのペースやリズムを大切にした生活

2003/4/28

13



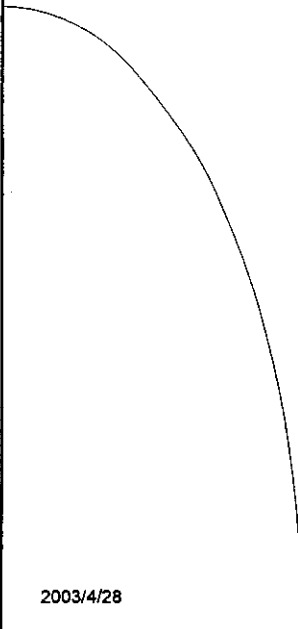
D体調を整える

- ・睡眠と覚醒のリズム
- ・活動と休息のリズム
- ・水分摂取と排泄バランス
- ・食事摂取と排便バランス
- ・食欲と体重
- ・転倒などのリスク管理
- ・不健康、不快な症状の早期発見・早期治療

2003/4/28

14

グループホームの実践を通して

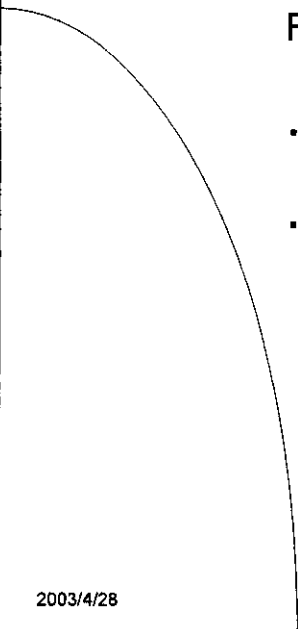


Eできる力を活かした日常生活

- ・その人の認知機能の把握と能力に合わせた支援
- ・その人のADLの把握と能力に合わせた支援
- ・その人のIADLの把握と能力に合わせた支援

2003/4/28

15



F生活歴を活かしたその人らしい生活

- ・その人の過去の役割や楽しみごと
- ・自信回復や情緒を豊かにする会話や行動

2003/4/28

16

グループホームの実践を通して

G仲間との支えあう関係

- ・ストレスになる人間関係の緩和

ぶつかり合い

孤立

2003/4/28

17

H家族との良好な関係

- ・本人の家族に対する思いやりや希望
面会 外出 外泊 旅行 墓参り 慶弔
- ・家族の本人に対する思いやりや希望

- ・家族と職員の支えあう関係
痛みや不安の共有
情報交換や話し合い

- ・家族同士の支えあう関係

(資料 2)

2003/4/28

18

グループホームの実践を通して

Ⅰ 地域と適切に関わる生活

- ・地域の人々の痴呆やGHIについての理解
- ・地域の人との交流
- ・本人の希望による自由な外出
買い物 理・美容院 選挙 敬老会
郵便局 趣味活動 文化祭 図書館

不安のない心地よい環境か？
関わる人の関わり方はどうか？

2003/4/28

19

事例① I・H氏

北風と太陽

関わる人の関わり方を振り返り、ケア理念に基づいたケアを実践

2003/4/28

20

グループホームの実践を通して

事例紹介

昭和2年4人兄弟の3番目として生まれる。中学を卒業してすぐに金属工場に勤務し、そこで知り合った男性と結婚。子供には恵まれず、夫婦共働きの生活が続く。人付き合いは苦手で殆どなく、家や土地の購入の為に、我慢する生活が続ける。夫婦とも定年まで勤め上げるが、夫を6年前に肺がんでなくし、独居となる。姪が世話をするが、昨年末ごろより自ら独居に対する不安訴え、ディサービス利用を経て、他グループホームに入居（二ヶ所）するが、暴力行為や脱走により長続きせず1～2日で退所、3ヶ所目のグループホームとして、昨年6月「こもればの家」入居となる。

2003/4/28

21

1、信頼関係を結ぶために

信じていること、大切な人であることを心から伝える

(信じてもらう前に相手を信じる、いいこと探し)

常に職員は自分を振り返りながら

(自分だったら有難いと思う対応をしているか)

2、あたりまえの生活を送るために

① こだわりを大切にし自分のペースで生活

- ・ 食べたいものを自分の手で

昼(パン、麺類)

- ・ 洗濯 好きな時間に洗って安心出来る場所に干す

- ・ 仏壇のセレモニー(朝夕 30分の読経)

2003/4/28

22

②生活の継続性

馴染みの美容室

家の片付け(1泊2日)

・忘れに対する援助

薬 食事

・交流への援助

隣人への声かけ

家族との連携

・セレモニーへの援助

正月準備

2003/4/28

23



2003/4/28

24

グループホームの実践を通して

趣味活動

公民館への歌う会
バックアップ施設における趣味活動
(カラオケ・民謡)
編物

2003/4/28

25



2003/4/28

26

グループホームの実践を通して

事例② 最期まで安らかに

本人の想い : 寝たきりになって迷惑を掛けたくない

家族の想い: 延命治療で苦しませず自然な形で逝かせてあげたい

最期を一緒に過ごしたい

課題: 掛かりつけ医は治療推進

スタッフの不安が大きい

(死の恐怖 対応に対する不安)

家族は健康上の問題で引き取れない

他の入居者への影響

2003/4/28

27

方法

本人: 心と体の痛みの緩和

緩和ケアの専門性の高い医師の選択

家族との良好な関係のための支援

福祉用具機器の活用(エアーマット・リクライニング可の車椅子・食事摂取補助具)

家族: 希望に添える在宅医療を中心とした医師の検討

インフォームドコンセント

本人への想いの支援(世話)

他入居者: 同じ仲間としての温かい支援の理解

今までと変わらないケアの提供(ニーズの明確)

職員: 死の倫理

ターミナル期、死の状態の理解と対応について

家族の心理と家族支援の方法

他入居者の心理についての理解と対応

死亡後の対応について(セレモニー)

体制: 緊急時の対応

緊急マニュアル

現場の応援体制(管理者・バックアップ施設)

2003/4/28

28

0さんの手を取りながら・・・



2003/4/28

29

生活の継続性のために

1、個別ケア

在宅 デイサービス(ケア)

GH 施設

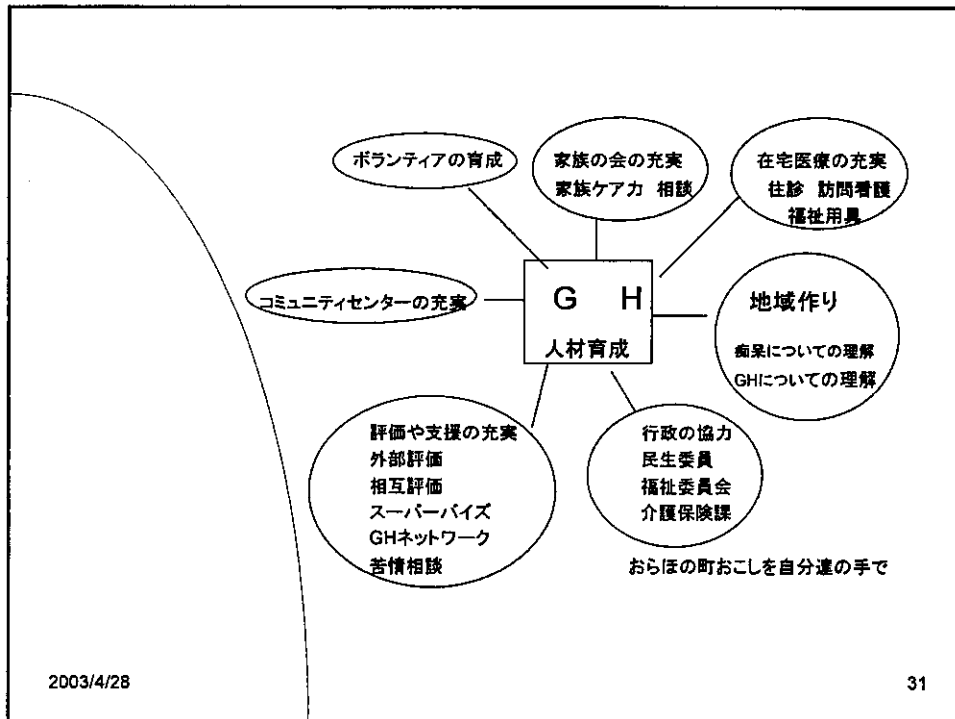
- ・アセスメントの統一
- ・ケアプランの視点の統一
- ・デイサービス+レスパイト(3人まで)
- ・デイサービスで馴染みの関係を作りGHへ
- ・GH+レスパイト(2人まで)

レスパイトの位置付けを明確にする

2003/4/28

30

グループホームの実践を通して



グループホームの実践を通して